

事業番号	08 04 22	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	酪農経営緊急支援事業費			担当課	部局	農政部
<参考> 総合5か 年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H24 ~	

1 事業の概要

目指す姿	○海外での高温干ばつ等による輸入飼料の高騰に対応するため、自給飼料への転換を推進するとともに適正な飼料設計を推進する。 ○酪農家の所得に直接影響する乳量、乳質を向上させるため、個体乳量の把握と体細胞数を確認して乳質改善を支援する。 ○牛群検定をサポートするため、酪農経営指導員等を配置して、実態調査、現地検討会を開催し酪農家の経営安定を図る。	
現状	○海外のトウモロコシなどの穀物主力産地では、高温干ばつによる作柄悪化のため輸入飼料が高騰しやすく畜産経営を圧迫している。 ○地域内で生産する自給飼料などの給与経験が少なく適正な給与設計ができていない。 ○牛群の能力検定を実施していない酪農家では乳量が伸び悩み乳質が低いことから酪農の所得確保が思うように進まない。	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 飼料高騰のため、短期間で緊急的な取組が必要であり、指導員を確保して、生産組合を問わず乳牛の能力把握と乳量乳質の改善が必要である。

① 成果目標(H24)

○能力検定を実施していない酪農家で能力検定と指導会を実施し、乳量・乳質を改善。80戸
 ○能力検定の継続実施を望む酪農家で、6ヶ月継続の能力検定を実施し、牛群検定の移行を進める。移行農家2戸

② 事業内容 (単位:千円)

項目	実施方法	H24事業実績		
		H24		H25
		(当初)	(決算)	(当初)
○酪農経営指導員等の雇用	委託	<雇用基金:JA全農長野> ○酪農経営指導員の確保 1名 ○乳量乳質検査指導員の確保 5名		
○乳用牛飼養管理状況の調査及び能力検定実施	委託	<雇用基金:JA全農長野> ○自給飼料等の利用促進のための飼料分析 ○個体乳量及び乳質乳成分の把握		
○農家指導会の開催		○能力検定に基づいた改善指導		
	合計	0	5,600	10,968

区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越			
当初予算	0	0	0	10,968
補正予算	0	0	9,442	0
合計(A)	0	0	9,442	10,968
国庫支出金				
県債				
その他(繰入金)			9,442	10,968
一般財源	0	0	0	0
決算額(B)			5,600	
概算人件費				
職員数(人)	0.00	0.00	0.34	0.34
概算人件費(C)	0	0	2,808	2,808
概算事業費(B+A+C)	0	0	8,408	13,776

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25目標
		目標	成果	達成状況	
能力検定による乳量乳質改善酪農家戸数	0戸	80戸	83戸	達成	130戸
牛群検定への移行酪農家戸数	0戸	2戸	2戸	達成	15戸

目標に対する成果の状況	牛群検定未実施農家へのお試し検定と牛群検定加入への勧誘を進めることで、牛検への理解が深まり、目標を達成することができた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 検査と検査結果に基づいた指導を充実し、牛群検定実施戸数を増やすとともに県内酪農家のレベルアップを図る。
---------------------	--